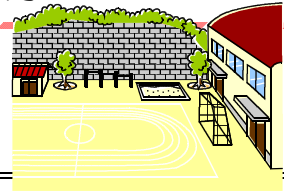


「新しい夏のはじまり」

7月29日

～前向きな生き方について考えよう～



【教材あらすじ】

松野亜樹は中学3年生。卓球部で県大会出場をめざしていた。しかし、最後の地区大会は1回戦で敗退。1学期終業式で、県大会出場を決めた卓球部の仲間が表彰されるのを見た亜樹は、放課後一人で体育館にやって来た。くやしい。くやしい…。目がしらが熱くなる。しだいに、3年間の部活動の日々がよみがえる亜樹。ここでプレイしたことは無駄じゃなかったて心の底から思いたい。「ありがとうございました!」亜樹の声が空っぽの体育館に気持ちよく響いた。亜樹に去年とはちがう夏休みが始まる。

【授業を振り返って】

- ①前向きに生きるためにはどんな気持ちが必要だと思いますか。
- ②努力を無駄にしないため、どのように毎日を送ればよいか具体的な方法を考えてみよう。

①前向きに生きることは、とても難しいけど、だれかのせいにせず、ポジティブに考えれば前は向けると思う。

②努力を無駄にしないためには、その努力を発揮するときに最大限生かせるように、強い気持ちで毎日を送ればよいと思う。

①「次につながる」と信じて生活する。(努力する)

②努力したことは、そこで発揮できなくても、自分の体にはしっかりと身につけているので今後につながっていくと思う。気持ちの切り替えも大切だと思う。

①自分のやったことは間違っていなかったと思えるようにする。いつまでもマイナスな気持ちでいない。それをやって楽しかったことを思い出す。

①努力せずに負けるより、努力して負けたほうがやり切ったと思えるから、勝っても負けても前向きになれると思う。

①まずは、自分のできることをできる限りする。そうすると、公開することが減る。
ポジティブに考える。そうすると心が軽くなる。
それでもだめなら、何かに話して、心を落ち着かせると同時に気持ちの整理をする。

①あきらめず、前を向いて毎日暮らす。

②部活の練習などに集中して取り組む。

①昨日やっていた事を復習したり、やってみたり、また、新しい事にも取り組んでいくこと、そうしたら自分の身についていたり、得意になれていたりする。

切り替えが大切だと自分は思う。していなかったら、そこにずっととどまって、次のことができなくなるからです。あとは、元気な気持ちです。元気がなければ、イキイキとした毎日が送れないからです。この2あれば前向きになれるはずだと思います。

①前向きな気持ちになれなかったとき、僕は「鬼滅の刃」のかまど炭次郎のセリフを思い出す。「風桂のお兄さんのことなんだけど、あの人はね、鬼殺隊に入ったことをすご

く怒っていたよ。でもね、憎しみのにおいは少しもしなかったんだ。(中略)実称さんは、玄称のことがずっと変わらず好きなんだよ」と。叱られたときはよくこれを思い出して、「期待されているんだな」と前向きな気持ちにしています。

①今まで努力したことを無駄だと思わない。

②自分が成功している様子を想像する。目標を決める。

②努力を無駄にしないために、もっともっと人より練習すること。

①努力が報われるまでには報われないときもある。だから、それまで耐える。いつかは報われる。うまくいかない時があっても、いつかうまくいく時が来る。ポジティブな考えが大切。なんとかなる！！

①努力しても結果に結びつかないことがあったから、私もこの話に共感できた。私も次にこの努力が生かせるように頑張りたいと思います。

①自分が努力してきたことを生かす気持ち。

②前までにできていた事を引退してから毎日続けて、感覚を忘れないようにする。

①次の目標をたてて前向きになる。練習には全力で取り組む。毎日練習して一日一日小さい目標を立てる。

②悔しい気持ちもわかるけど、努力を無駄にしないためには、気持ちを入れ替えて、新しい気持ちで前向きになることが大切だと思いました。また、現実を受け入れることも大切だと思いました。

悔しい・悲しい気持ちもあるけど、「よし、がんばろう」という気持ちで毎日を送ればいいと思います。

①前向きに頑張るのは難しいけど、今まで続けてきたことを生かし、自分なりに頑張ることが一番いいと思う。私は、いつも負けてばかりいて、人よりできることはないけど、学校の伝統であるあいさつは、できるだけするようにしている。「前向き」という言葉は、伝統を守って行くにも大切なことだと思う。